

式 辞

能登半島地震から二ヶ月半、辛く苦しい冬を乗り越え、ようやく春の暖かさと未来への希望が感じられる頃となりました。

本日ここに、氷見市教育委員会關野洋香様、育友会長笠島一之様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席、そして保護者の皆様のご参列のもと、令和五年度卒業証書授与式を無事挙行できますことは、誠に喜ばしく、心より感謝申し上げます。

さて、百十二名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは義務教育九カ年の課程を終え、それぞれが選んだ道へと歩み始めます。

皆さんがこれから進む社会は、予測困難な時代にあるといわれています。

元日の地震は、専門家も予測していない数千年に一度といわれる規模の地震でした。

また、世界各地で戦争や大規模な自然災害が起き、不安になることも多くあります。そして、生成AIなど、先端技術がめまぐるしく進化し、インターネットを通して供給される莫大な情報量に、飲み込まれそうになる時もあります。

このような予測困難な時代を生き抜き、持続可能な社会を作るためには、何が必要でしょうか。

実は、皆さんはその答えを自分たちで考え、実行してきました。

思い出してください。二年生後期の生徒会テーマ「colorful」を。

グローバル化が進み、多様性を認め合う社会において、それぞれの色で輝くことは、とても重要なことです。これからも自分の色を輝かせ、多様な考えの人と対話を重ねて、予測困難な時代の答えを見つけながら、歩いていってください。

また、思い出してください。三年生前期テーマの「connection 結」を。

今回の災害が起きたとき、人と人との温かいつながりが私たちを助けてくれました。

不安な時代だからこそ、友とのつながり、家族の絆、そして地域社会のつながりを大事にしてください。

そして、思い出してください。皆さんが部活動や学校行事で見せたあの姿を。

部活動では、ライバル校との試合に敗れ、悔しい思いをした日もあったと思います。しかし、敗戦から学び、日々の練習の中で成長し、各大会やコンクールで皆さんは躍動しました。中でも男子卓球部が北信越大会出場、そして野球部が全国大会へ、女子ハンドボール部は全国大会3位入賞と氷見北部の名を全国に響かせました。

運動会では、猛暑により思うような練習ができない中、創意工夫をこらした応援を成功させ、最後には全校生徒が一つの輪になり、生徒会テーマのコネクション、結を表現しました。

初めて芸術文化館で開催した合唱コンクールでは、力強くきれいなハーモニーをホール全体に響かせ、最高学年として素晴らしい歌声を披露しました。

一方で、このような活躍の陰で、人には言えない苦しみから、涙を流した日もあったのではないのでしょうか。しかし、その苦しんだ経験も、皆さんの心を優しく強いものへと成長させてくれたと思います。

「失敗と書いて、成長と読む」という言葉があるように、中学校三年間の失敗も、大きく成長できた証です。決してこの三年間を否定することなく、胸を張って卒業してください。

一人一人の色を輝かせること、仲間とのつながりを大切に、目標に向かって努力すること、たとえ失敗しても成長と置き換えて前に進むこと、これらのことは、どのような時代になっても大切なことです。卒業生の皆さんが、次のステージでも輝くことを願っています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと存じます。これから子供たちは、保護者の皆様から少しずつ離れていくと思いますが、手は離れていっても心は離さずに、これからもお子様の一番の理解者として、ともに歩まれることを願っています。

また、これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

結びに、昨年のWBC決勝前に大谷翔平選手はアメリカ代表チームに対し「憧れるのをやめましょう」と呼びかけ、見事優勝を果たしました。卒業生の皆さんも、これから始まる新しい生活に対して、憧れを抱いて臨むのではなく、自分こそが新しい生活の主役となる、そういう強い気持ちをもって活躍していくことを祈念し、式辞といたします。

令和六年三月十四日

氷見市立北部中学校長 櫻 打 佳 浩